平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第６報）

平成１７年６月３日
発　行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数が増加。」

１　ラーバの出現状況

６月１日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200 μm 未満が５個/トン、200 μm 以上が 20 個/トンと、前回調査時（合計２個/トン）より増加しています。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 9.5℃と、前回調査時より 0.4℃低下し、平成９～16 年の平均値より約 1.5℃低めの値となっています。

２　試験採苗器による付着稚貝調査

５月 30 日以降の調査において、釜石と大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。

各調査点の付着数は 36～881 個/袋と、全ての定点で増加しています。

なお、唐丹湾では、付着稚貝の５割が付着直後の個体でした。

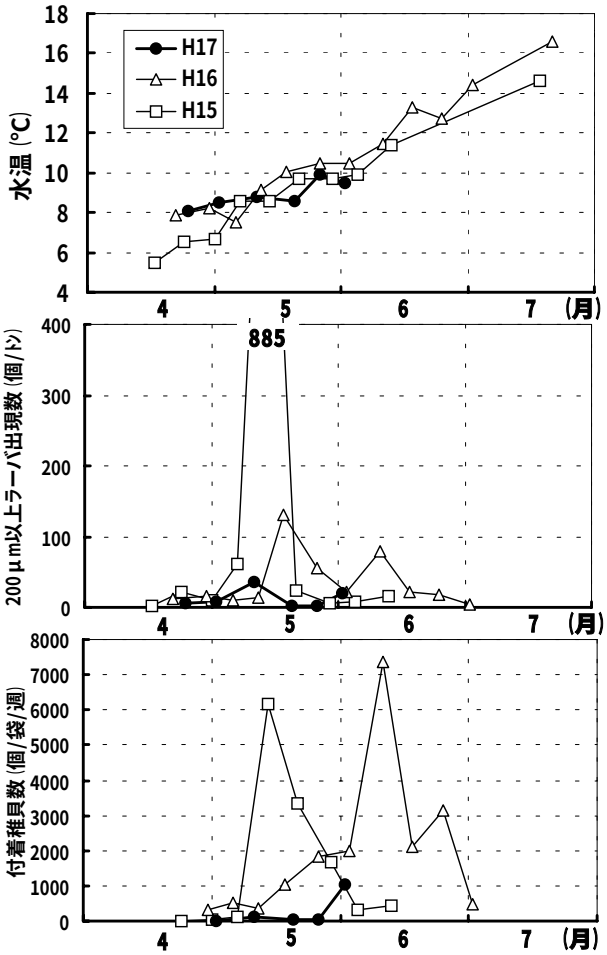

図　唐丹湾における水深 10m 層水温と ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

図　調査点と付着稚貝調査結果

県中南部以南では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

採苗器の投入を終了していない場合には、直ぐに全ての採苗器を投入してください。

次報は、６月 10 日頃発行する予定です。